

本研修資料より  
一部抜粋

令和7年度 熊本県  
高校魅力化コンソーシアムモデル構築  
に向けた研修

令和7年6月3日



地域・教育魅力化  
プラットフォーム  
Platform for Sustainable Education and Community



# 1 コンソーシアムの役割・機能 ～「うまく回る」コンソーシアムとは？～

## 各高等学校の特色化・魅力化（2021）

高等学校と関係機関等との連携協力体制の整備  
高等学校は、当該学校における教育活動その他の学校運営を行うに当たり、**関係機関等との連携協力体制の整備に努める**こととする。各高等学校や地域の実情に応じて以下の取組を実施

- ・ **コンソーシアムとしての体制づくり**
- ・ 高等学校内に地域連携協働室などを設置
- ・ 関係機関との調整を行うコーディネーターの配置

文部科学  
省

内閣府

経済産業  
省

## まち・ひと・しごと創生基本方針（2018）

高等学校と地元市町村等の地域の関係者の間で継続的に緊密な連携を行い、地域一丸となって取り組んでいくことが必要である。そのため、**地域の関係者により構築するコンソーシアムの設置など、高等学校を活用した地方創生**を進める

## 未来人材ビジョン（2022年）

課題の構造を見極めながら、自分に足りない知恵を集め、異なる他者との対話を通じて、協働的な学びが行われるべきである。その際、**世の中の社会課題を機敏に感知する企業の知見を教育にも取り入れる必要があるのではないか。企業は教育に主体的に参画し、現場と二人三脚で「あるべき姿」へと変革していくべき。**

## 「社会に開かれた教育課程の実現」と「高校を核とした島根創生」

「社会に開かれた教育課程の実現」と「高校を核とした島根創生」の持続可能な好循環を生み出すためには、次の3つの機能を備える高校と地域の協働体制「高校魅力化コンソーシアム」の構築が必要

### 高校と地域の協働体制「高校魅力化コンソーシアム」

#### 経営的機能

##### ●コンソーシアムの円滑な運営

- ・協働体制の運営（ビジョンづくり・PDCAの展開等）
- ・全体の意思決定・各機能間の調整
- ・外部資源獲得（ヒト・モノ・カネ等）
- ・大学・民間企業等との連携・協働の基盤づくり など

コンソーシアム運営マネージャー

#### 高校教育的機能

##### ●地域資源(企業・大学等)の活用による「教育の質の向上」

- ・基礎学力の向上
- ・地域課題解決型学習の推進
- ・インターンシップの推進

- しまね留学の推進
- 働き方改革の推進

地域連携担当教員、非常勤職員等

#### 地域創生的機能

- 次代の担い手育成対策
- 地元就職率・地元進学率向上対策
- 卒業生ネットワーク構築（関係人口化）
- 高校生と地域住民等との協働によるまちづくり

社会教育主事、魅力化コーディネーター等

社会に開かれた教育課程の実現（島根県）

高校を核とした島根創生（市町村）

# 矢上高校コンソーシアムができるまで

島根県立矢上高等学校  
矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）事例

矢上高校魅力化コーディネーター  
（財）地域・教育魅力化プラットフォーム  
都道府県伴走事業部 小林圭介

**場所** 島根県 邑南町

**歴史** 1948年創立 (77年目)

**学科** 普通科/産業技術科

**人数** 生徒:243人 (1学年3クラス)



## 学校周辺

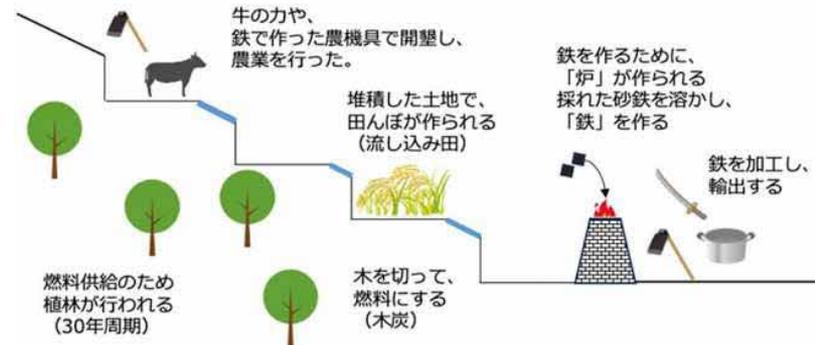


## たたら製鉄で作られた人口盆地：於保知盆地

### たたら製鉄 鉄穴流しで作られた土壌 農業や林業、加工、商業で栄えた町



花崗岩が削られ、「鉄穴流し」で、土地が階段状に



黒船の登場・海外からの安価な鉄の流入によって、たたら製鉄は衰退

篤志家は、地域のためには、「交通路の整備」と「教育振興」を掲げた。

矢上高校は、地元の町民が木材を集め、校舎建設をして、  
県が高校として認めた学校。

# 矢上高校の2つの学科、5つのコース

## 矢上高校の普通科

**1年生**

2・3年生 **探究コース**

2・3年生 **総合コース**

**進学×少人数**

**起業探究II**

### 進路希望に応じた2つのコースから選択

◎探究コース  
一般選抜対応カリキュラム  
文系・理系  
地歴選択  
理科選択  
→少人数 (3人の授業も)

◎総合コース  
→就職・進学等カリキュラム対応可能

## 産業技術科

1年生は全てのコースを学び、2・3年生は、3つのコースから1つ選択 (専門系の学校は1年次からコースに分かれる)

3年生になると、週30時間のうち専門の授業を16時間学ぶ時間がある

**1年生**

2・3年生 **植物コース**

2・3年生 **動物コース**

2・3年生 **工業コース**

## ヒーローズ HEROes探究

ヒーローは、他者のため、社会のために自分の強みを生かし、ヒーロー活動を行います。私たちは、ヒーローを世の中に送り出すために、探究活動をプログラムしています。あなたはどんなヒーローになりたいですか？ヒーローに変身せよ！

Humanity : 人間性をもって接する  
Empowerment : 自分と他者を元気にする  
Responsibility : 責任を持って取り組む  
Originality : 自分の強みや自分らしさを大切に  
複数形 (es) : みんなでヒーローになる

## HEROes探究

1年・2年の探究

**自分の強み(技)を磨け！**  
ガイド探究・個人探究

個人では...  
・イクメンの育て方  
・対戦ゲームを作りたい！  
・持続可能な国にするには？ 等 個性的な探究をしている所です。

3年 起業探究II (総合コース)

**ヒーローたちよ 企業の抱えている課題を解決せよ！**

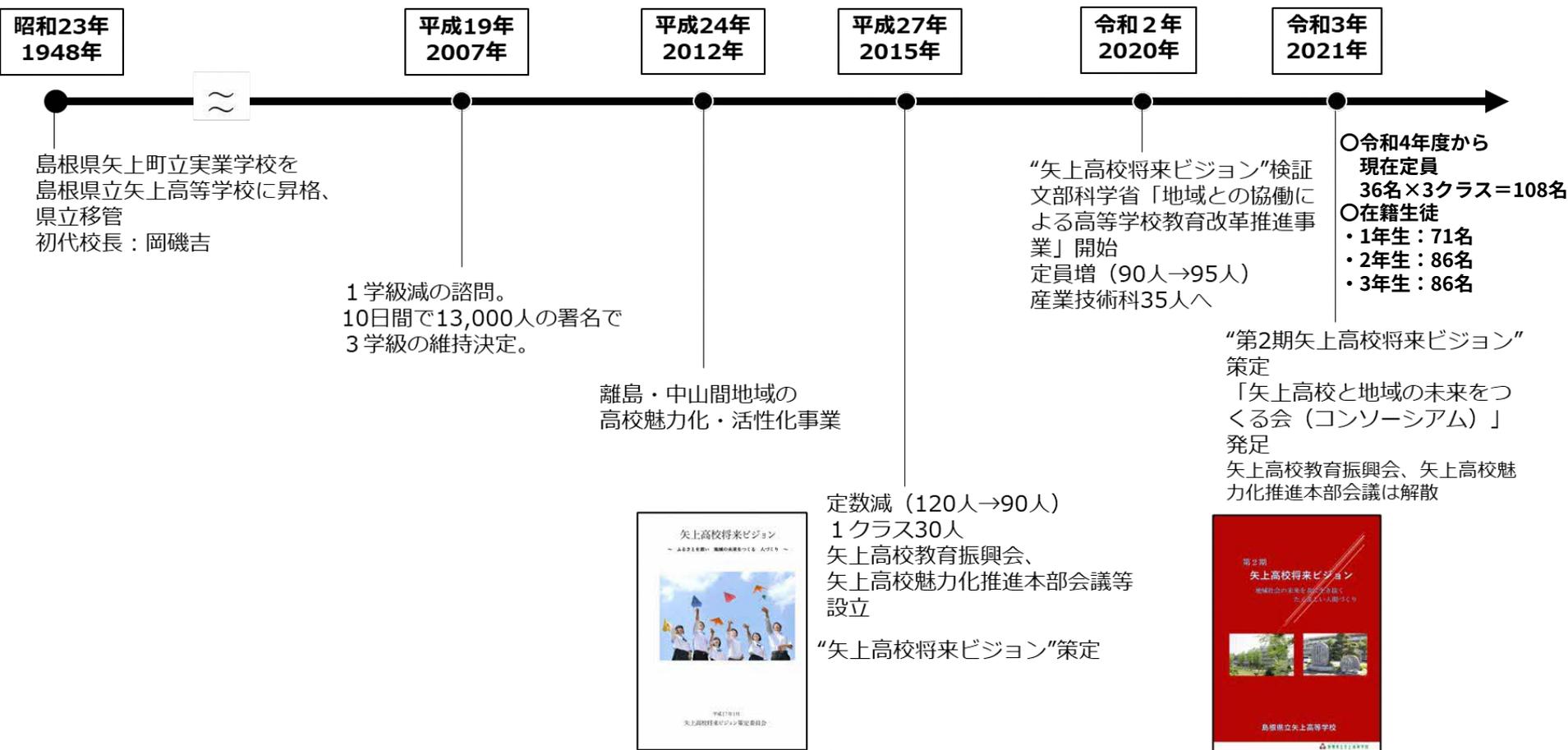
チームで取り組む！

経済を学ぶ 大学生と一緒に

## 学んだことを地域の人に還元しよう！ 産業祭

3年間で1,800時間以上学ぶ、専門の農業・畜産・工業での成果物を地域に披露。

学ぶ → 作る 育てる → 披露する 販売する



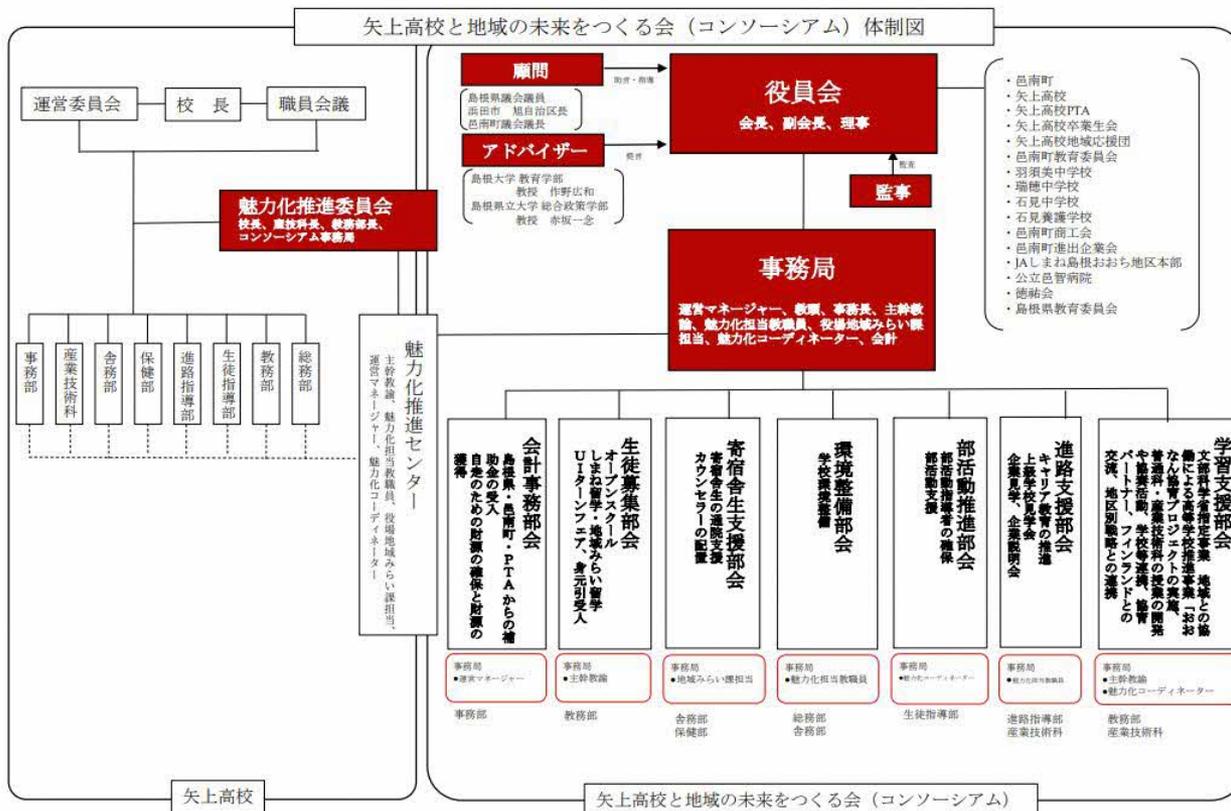
# 矢上高校のコンソーシアムの概要（現在）

## 概要

- 矢上高校では『矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）』を以下の目的のもと設置
  - （1）矢上高校の永久存続に向けた**積極的な生徒募集**
  - （2）地域・保護者との協働、**邑南町の特色や施策との連携を意識しながらの教育内容の魅力化・特色化**
  - （3）生徒に確かな知識・技能を身に付けさせ、地域課題に主体的に向き合う態度を身につけさせること
  - （4）行政・企業・地域住民と連携のもとで、**生徒・教職員が力を発揮できる教育環境を整備**すること
- コンソーシアムの部会は7つに分かれ、主幹教諭・CNを中心に学年部や地域を巻き込んでいる

# 矢上高校と地域の未来を考える会（コンソーシアム）

## 永久存続が共通言語／主な取組＝矢上高校将来ビジョンの実行



### コンソーシアムの主な取組

1. 積極的な生徒募集
2. 魅力ある教育環境づくり
3. 学力・社会力・人間力の醸成
4. コンソーシアムの体制構築

# コンソーシアムの主な役割=ビジョンの遂行

“地域社会を共に生き抜くたくましい人間づくり”



## 生徒募集

矢上高校を存続するためには定員の充足が必要です。

邑南町の中学生を中心に、県内外から中学生が「ここで学びたい」を思ってもらえるよう、学校PRを行い、生徒募集を行います。

## 地域との連携による 特色ある教育の推進 [流行]

魅力ある教育は、“不易と流行”の2つの視点があります。

“不易”は、高校としての存在理由、すなわち「生徒の進路保障」のための教育活動です。学力・社会力・人間力の醸成は島根県内のどの高校でも求められます。

“流行”は、本校ならではの特色ある教育活動のことです。普通科・産業技術科それぞれが地域とつながり、学科同士がつながり、「矢上高校ならではの」教育を生み出します。

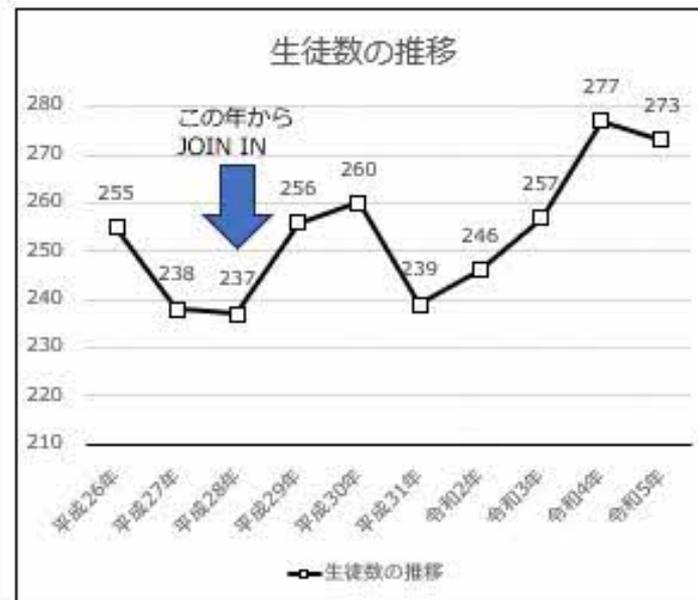
## 学力・社会力 人間力の醸成 [不易]

## 安定した運営

生徒募集も魅力ある教育も一過性のものではありません。継続することが大切です。

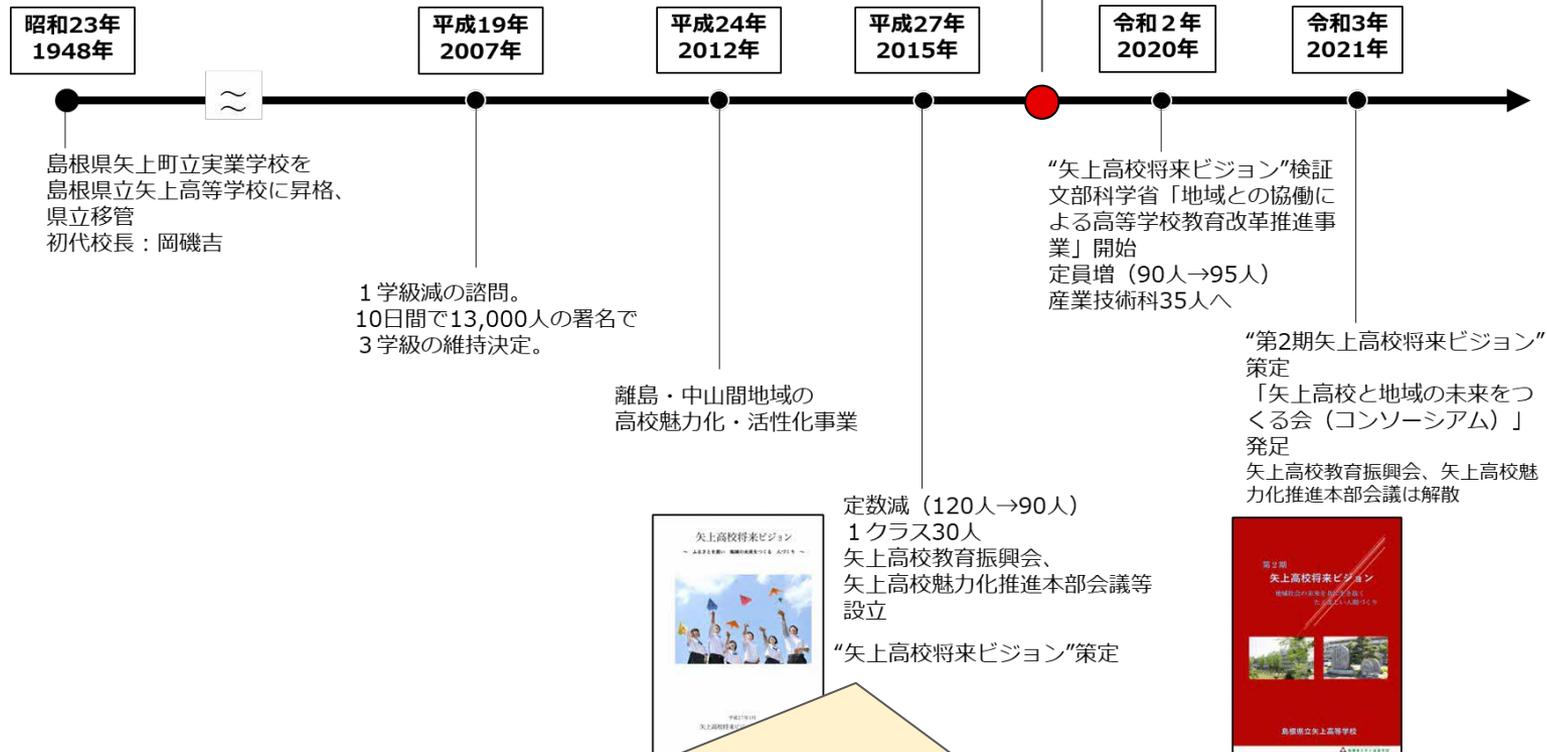
魅力ある矢上高校であり続けるためにも、学校運営を安定化させ、地域と連携する体制をつくります。

生徒数の推移



# コンソーシアムを作ることになったきっかけ

平成31年（令和元年、2019年）  
『県立高校魅力化ビジョン』で  
コンソーシアムについて言及



**将来ビジョンの期限**  
平成27年から平成31年の5年間→検証含め、2年間延長

# マネージャーの出す資料



## 1. 令和6年度(1学期)の成果と課題(総括)

成果 (OUTPUT)	課題 (ISSUE)
<b>I. 入学者の安定的充足</b> < 9月上旬現在 > ・オープンスクール等参加人数 153名 (一昨年: 142、昨年: 143) ・県外バスツアー参加者: 6名 (6) ・個別訪問: 5名 (4)	・7月末に高校生との座談会を設けるが、申込み者0人 > 考えられる理由: OS直前のため参加がなかったが日程の検討が必要 ・過年で適切なタイミング、適切なアクションを実施
<b>II. 地域との協働による特色ある教育の推進</b> < 9月上旬現在 > ・協育パートナー総会を開催 ・協育パートナー(探究学習/地域人材) 12名 ・フィールドワーク等実施 9チーム/全18チーム中	・協育パートナーの関わり方を変更したことから、わかりにくさが生じている > 協育Pとの関係性構築、維持 > 協育Pの位置づけ整理
<b>III. 学力・社会力・人間力の醸成とふるさとの未来を担う人材育成</b> ・公営塾 (6/10～ 開講) →現在、13名の塾生で稼働中	・PTを立ち上げ具体的な検討・議論をベースに推進 ・小中高の部活動連携のモデル的取り組みの成果を整理
<b>IV. コンソーシアム体制構築</b> < 9月末現在 > ・自主事業について検討中 ・クラウドファンディング実施 ・役員戸別訪問実施中	・自主事業、自主財源の確立 ・自主事業を担える組織体制構築(法人化検討)



## 2. データでみる矢高生

### 高校魅力化評価システムとは

高校魅力化評価システムとは

「学校の教育活動を生徒の視点から見える化」する組織診断ツールです

学校の教育活動を2つの側面から見える化

- ①学習活動 → 学校・地域でどう学ぶか? を指標化 → 明示的なカリキュラム
- ②学習環境(学びの土壌) → どのような環境の中で学ぶか? を指標化 → 隠れたカリキュラム

もういちど、高校魅力化評価システムとは

「生徒の資質・能力の伸び見える化」する組織診断ツールです

3つの側面から

- ①生徒の能力認識
- ②生徒の行動実績
- ③生徒の満足度

4つの領域から

- 主体性
- 協働性
- 探究性
- 社会性

三菱UFJコンサルティング&リサーチ 説明資料  
魅力化評価システム研修会 (R4.4.26)

## (1) 選ばれる学校への後押し

矢上高校ブランドを構築し、安定した生徒募集活動へ移行する(生徒募集費の割合を下げる)	
既存事業	新規事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの更新</li> <li>ニュースレターの発行</li> <li>学校案内の作成</li> <li>町内説明会の開催</li> <li>県外生徒募集説明会</li> <li>桜江方面の支援便の運行</li> <li>公式Instagramの運用</li> <li>寄宿舎環境の充実</li> <li>公営塾(おおなんみらい塾)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校連携促進</li> </ul>
	廃止事業
	なし

- ▶ 小学校、中学校との連携、情報発信
- ▶ 矢上高生の姿を小さな頃から身近に、カッコいい、かわいい生徒像へ

## (3) 教職員の働きやすい環境づくり

邑南町全体で教職員が働きやすい仕組みをつくる =負担軽減+教職員が邑南町を知ることによって授業の組み立てをイメージしやすく	
既存事業	新規事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>著名指導者による指導</li> <li>地域人材確保</li> <li>地域系部活動の充実</li> <li>教員研修(ICT、スクールマネジメント等)</li> <li>設備等リース</li> <li>感染症対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財源確保検討</li> <li>部活動の地域移行検討</li> </ul>
	廃止事業
	なし

- ▶ 教職員の負担軽減と合わせて地域との協働体制(プラットフォーム)構築
- ▶ 多様な背景を持った協育パートナーとの連携体制(地域/ICT/部活...)

他の魅力化校

◎中長期的な地域、  
学校のために、地域も  
学校経営に参画



- 地域は喜んで力を貸してくれる（口も出してくれる）
- 地域の課題＝学校の課題

矢上高校

◎地域はともかく、  
学校存続のために学校経営  
（学校運営協議会型？）



- 困った時だけ、地域に協力を依頼する
- 地域の課題≠学校の課題

圧倒的に地域との対話ができなかった

- ◎ **そもそもコンソーシアムは、  
矢上高校のためだけにあるのではない。  
（矢上高校と地域の未来をつくる会）  
地域のためにもある、という再定義。**
- ◎ **地域との対話の機会を作り、  
前提を明らかにしてビジョンを作る。  
（第3期ビジョン、設立80周年の機会）  
地域のために高校は何ができるかという視点。**
- ◎ **卒業生へのアプローチ（人材還流）を生み出す  
＝地域の課題**



# 3 コーディネーターの存在

「社会に開かれた教育課程の実現」と「高校を核とした地方創生・地域力創造」の持続可能な好循環を生み出すためには、**コーディネート機能の充実**が重要。高校・地域の状況により、どのような立場の人材がその役割を果たすかは異なる。

### 高校における コーディネート機能

- 地域社会と関わる教育課程の企画・運営・支援
- 地域側との連絡調整・情報提供
- 学校への地域資源の活用
- 地域系部活動等の教育課程外の地域探究や活動の支援
- 地域との連携・協働に係る研修の企画・実施など

### 地域における コーディネート機能

- 地域資源（人・もの・こと・課題等）の掘り起し
- 学校側との連絡調整・情報提供
- 学校外での高校生を含む活動の企画・支援
- 地域留学等新しい人の流れをつくる企画・調整（下宿等含む）
- 卒業生とのつながり構築や活動支援など

### 協働体制におけるコーディネート機能

- 組織体制の構築・運営（ビジョン・計画づくり、事業・会議の運営等）
- 外部資源獲得（ふるさと納税、寄附等）
- 大学・民間企業等との連携・協働 など

図5：高校と地域をつなぐコーディネート機能の位置づけ

コーディネーターについて ～役割レベルの3段階～

- ✓ 必要なコーディネート機能は、役割のレベルによって大きく3つに分類され、特にプレーヤークラス及びマネージャークラスのコーディネーターには、カリキュラム開発に係る専門性の高い知識と、地域人材の発掘、育成、教育資源の収集・整理等のために地域内外との継続的な連携が求められる。
- ✓ コーディネーターが非常勤やボランティア等といった配置では、必要なコーディネート機能を継続的に担うことができず、教職員が多くの役割を担う必要がある。



高校・地域の状況により、どのような立場の人材がその役割を果たすかは異なる。

地域  
コーディネーター  
機能

①生徒募集の広報・PR

↳全国生徒募集(地域みらい留学)における、募集・広報業務など

②生徒の週末の生活支援

↳ハウスマスター(学生寮スタッフ)、休日の地域活動の支援など

③教育課程外の学習機会の支援

↳公営塾スタッフ、公民館を使った場の運営など

学校における  
コーディネーター  
機能

④教育課程内の学習サポート

↳探究学習のカリキュラムの企画・サポート、特色ある教育プログラムの活動支援など

協働体制  
コーディネーター  
機能

⑤外部機関(自治体、大学、民間企業等)連携

↳コンソーシアム運営、ビジョン計画策定や協議会の運営など